

# 東京DMAT通信



～DMAT 隊員と福祉保健局のホットライン～

創刊号 2008. 3. 11

## ◎「東京DMAT通信」の創刊にあたって

☆ 東京DMAT 計画運営検討委員会委員長 辺見 弘 (国立病院機構災害医療センター院長)

都市型災害でも自然災害であっても、一人でも多くの「preventable death」を回避する。それは医療に携わる者の義務である。生命と身体に重大な被害がおよぶ緊急事態の対応は医療人としての危機管理であり、セーフティネットと考える。災害医療の訓練を受け、自らの身を守るギアを備え、都内だけでなく他の地域の災害も支援できる機動性を有し、自己完結型チームを目指して東京DMATはスタートした。

東京DMATは、これまで大規模交通事故等の現場で救命処置等を行う災害医療派遣チームとして大きな成果をあげているが、東海地震、東南海・南海地震、日本海溝型地震と首都直下型地震の発生に対応することも喫緊の重大問題である。

最大の被害は首都直下型地震であり、東京は首都機能が集中していて適切な対応ができなければ日本全体が脳梗塞になりかねない。しかし、どの巨大地震でも被災地にとどまらず、非被災地にも甚大な影響がでることから、まさに全国民が協力し取り組まなければならない問題である。一昨年、小泉元総理は今後10年以内に被害を半減できるように具体的な計画策定を指示した。

着実に計画を進め、組織が迅速に動ける機能を備えなければ、大恐慌をただ待つだけである。

災害の発生は防止できないが、適切な備えとして、東京DMATの活躍に期待している。

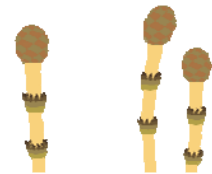
☆ 東京都福祉保健局医療政策部長 細川 えみ子

平成16年、現実からの要請に押されて発足した東京DMATは、走りながら考えつつ活動を続け、皆様のご協力により、17病院543人体制にまで拡充しました。これだけの大所帯ともなりますと、お互いの顔の見える関係を維持することは難しくなっています。今後の更なる展開のため、認識や情報の共有を図りたく、今回新たな情報紙の創刊を行うこととしました。

事故救助や災害救援の実績が上がるにつれ、周囲から東京DMATへの期待はますます大きくなっています。それに応えるためにも、隊員一人ひとりが心遣いなく誇りを持って活動するためにも、様々な課題を整理し一緒に解決していきたいと思えます。私どもも精一杯努力しますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## ◎ 「東京DMAT」登録者数 (平成20年1月1日現在)

医師141名 看護師361名 事務官41名 計543名



## ◎ 「東京DMAT」指定病院 (17病院) (医療圏順)



日本医科大学付属病院  
救助救急演習 (首都高速環状線)



昭和大学病院  
東京都大規模テロ対処訓練 (大井競馬場)



東邦大学医療センター大森病院  
航空機事故対処訓練 (羽田空港)





都立広尾病院  
東京都総合防災訓練（横田基地）



東京医科大学病院  
連携総合訓練（新宿アイランドタワー）



帝京大学医学部附属病院  
救助救急演習（光が丘体育館）



東京女子医科大学東医療センター  
救助救急演習（舎人ライナー）



白鬚橋病院  
救助救急演習（JR錦糸町駅）



都立墨東病院  
震災消防演習（晴海ふ頭）



青梅市立総合病院  
東京都総合防災訓練（瑞穂町）



東京医科大学八王子医療センター  
大規模救助演習（圏央道）



東海大学八王子病院  
東京都総合防災訓練（福生市）



国立病院機構災害医療センター  
救助救急演習（八本訓練場）



杏林大学医学部附属病院  
救助救急演習（飛田給駅）



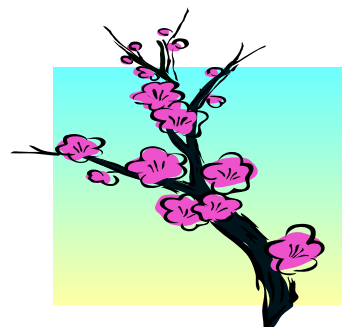
武蔵野赤十字病院  
救助救急演習（六本木ヒルズ）



都立府中病院  
震災消防演習（国分寺）



公立昭和病院  
小平市防災訓練（小平五小）



※ 今後は、訓練・演習や実活動などについて、お知らせします。

## ◎ 東京DMATのこれまでの活動実績

年度	出場件数	主な出場事例
平成16年度	10	新潟中越地震・交通事故等
平成17年度	8	工事現場事故・交通事故等
平成18年度	78	エレベーター挟まれ事故・交通事故・鉄道事故等
平成19年度	52	爆発事故・交通事故・鉄道事故・工事現場事故等

※ 平成19年度は、平成20年1月末現在

## ◎ 東京DMATの活動における表彰事例

	発生日月	指定病院	事案概要	表彰区分
1	平成19年6月14日	白鬚橋病院	トラック2台の衝突	足立消防署長感謝状
2	平成19年7月3日	東京医科大学	鉄道(挟まれ)事故	消防総監感謝状
3	平成19年7月5日	白鬚橋病院	工事現場における救助	消防総監感謝状
4	平成19年10月19日	災害医療センター	乗用車大破横転事故	福生消防署長感謝状
5	平成19年11月12日	東京医科大学	乗用車内閉じ込め	新宿消防署長感謝状

※ 今後も表彰事例については、紹介させていただきます。

## ◎ 今年度の研修について

- ・「東京DMAT隊員養成研修」を2回実施し、99名の方が受講しました。
- ・「東京DMATバージョンアップ研修」を4回実施し、220名の方が受講しました。

### 東京DMATバージョンアップ研修カリキュラム

時間	講義内容
12:30~	開会式
12:40~13:10	Module 8 複数DMATの連携
13:10~14:20	Module 13 PICE stage IIへの対応
14:30~15:00	Module 10 小児のトリアージ
15:05~15:45	Module 9 TIT 応用編
15:55~16:35	Module 11 救出困難症例の対応訓練
14:30~16:30	Module 12 PICE stage IIへの対応(事務官)
16:35~17:05	Module 14 Mass gathering event

### バージョンアップ研修の様子



## ◎ 来年度の研修について

- ・「東京DMAT隊員養成研修」を上半期・下半期の計2回実施する予定です。
- ・「東京DMATバージョンアップ研修」を年に4回実施する予定です。



## ◎ 事務局からのお知らせ

東京DMAT通信は隊員皆様と事務局のホットラインです。実活動や訓練での経験談・各病院における取組み・事務局への要望など、皆様からのご意見をお待ちしております。来年度からは年3回程度を目処に、必要の都度、発行していきます。

発行 東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療係  
 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
 電話 03-5320-4445 (直通)  
 FAX 03-5388-1441  
 メールアドレス S0000299@section.metro.tokyo.jp